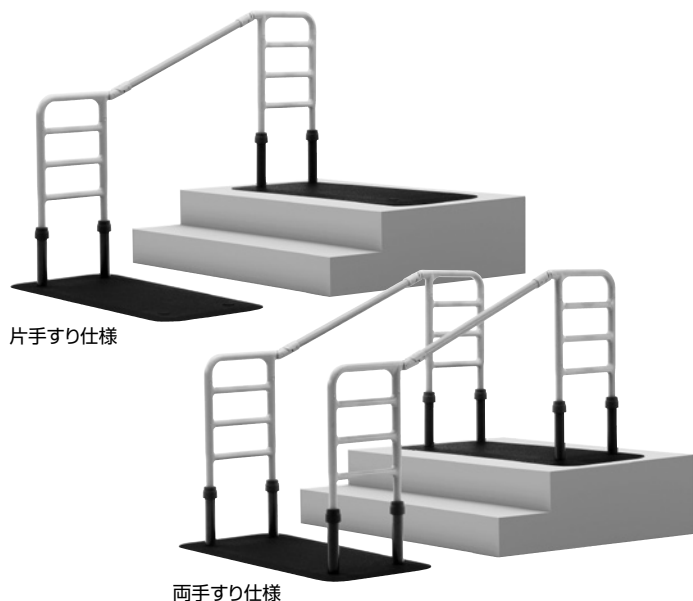


床置き型手すり ルーツ エントランス

取扱説明書

目次



○注意事項	P1
○各部名称	P3
○設置前の確認	P4
○組み立て方法	P4
○分解方法	P7
○運搬・保管方法	P7
○お手入れ方法	P8
○点検項目	P8
○このようなときには	P9
○各部寸法および仕様	P10

安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後もいつでも見られる場所に大切に保管してください。利用者様の健康状態や体調が変化した場合には医師や看護師、福祉用具専門相談員などの専門の方に相談した上でご使用ください。利用者様の身体状態、設置場所を十分確認し、安全であることを確認してからご使用ください。

安全上の注意 必ずお守りください

- ①利用者様や他の人への危害・財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を見逃し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

⚠ 注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

- ②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

⊘：してはいけない「禁止」を意味します。

!：必ず実行していただく「強制」を意味します。

ルーツ エントランスは置くだけで使え、玄関まわりでの生活動作を広げる床置き型手すりです。
下記内容を必ず守って使用してください。



- ① **利用者が自身の身体を十分に安定できない場合は、使用しないでください。**
必ず介助者が付き添って使用してください。
- ② **他社製品と連結して使用しないでください。**
手すりが変形・破損したり不安定になり転倒し、ケガをするおそれがあります。
- ③ **製品に異常がある場合は、使用しないでください。**
使用中不安定になり転倒し、ケガをするおそれがあります。
- ④ **手すりに座ったり、ぶら下がったり、踏み台にしないでください。**
通常の使用状態以上の力や衝撃が加わると、変形したり破損するおそれがあります。また転倒し、ケガをするおそれがあります。
- ⑤ **手すりを横から引っ張ったり体をぶつけたりしないでください。**
手すりが不安定になり転倒し、ケガをするおそれがあります。
また、ベースプレートが持ち上がり、床面とのすき間に足の指などをさみ込み、ケガをするおそれがあります。
- ⑥ **利用者様の動線を十分に検討しないまま設置しないでください。**
本来の性能を発揮することができません。利用者様の動線に合わせて最適な位置に設置してください。
- ⑦ **手すりの高さや位置を利用者様の身体状態に合わせないまま設置しないでください。**
手すりの高さや位置は利用者様の身体状態に合わせ、最適な設定と設置を行ってください。
身体状態に合わない無理な高さや位置で使用すると体を痛める原因や、転倒しケガをするおそれがあります。
無理な姿勢で使用すると過大な負荷が発生し、転倒するおそれがあります。
- ⑧ **手すりの支柱固定ボルトや高さ調整キャップ連結手すりなどのしめ具合を確認しないまま使用しないでください。**
手すりの支柱固定ボルトや高さ調整キャップ連結手すりなどは確実にしめて使用してください。
点検で、支柱固定ボルトやキャップ連結手すりなどに異常が見られる場合は、使用せず部品を交換してください。
- ⑨ **連結手すりはP5の表以外での組み合わせはできません。また、120cmを超える組み合わせで使用しないでください。**
- ⑩ **手すりが地面に対し、垂直にならない地面や滑りやすい地面には設置しないでください。**
使用中不安定になり転倒し、ケガをするおそれがあります。
- ⑪ **ベースプレートは、凹凸の大きい床面、柔らかい土間には設置しないでください。**
- ⑫ **2枚のベースプレートが平行に設置できない、水平に置けない、段差スペースに収まらないなどの場合は、設置しないでください。**
- ⑬ **手すりと連結手すりの角度が45°以上になる場合は、設置しないでください。**
- ⑭ **風呂場などの常に水気のある場所には設置しないでください。**
- ⑮ **斜面には設置できません。**
- ⑯ **道路にはみ出すような場所には設置しないでください。**
車両との事故につながり、また歩行者がつまづき、ケガをするおそれがあります。
- ⑰ **製品が凍結・積雪している場合は、絶対に使用しないでください。**
手や足元が滑って転倒し、ケガをするおそれがあります。
- ⑱ **壁とのすき間を確認しないまま設置しないでください。**
壁とのすき間は、12cm以下または25cm以上離れた状態で設置してください。
- ⑲ **手すり・支柱の間に頭・体・手足を入れないでください。**
- ⑳ **最大利用者体重を守ってください。**
最大利用者体重は100kgです。
- ㉑ **使用中にゆるみやガタつきが発生した場合は、利用を中止し、必ず貸与事業者へ相談してください。**



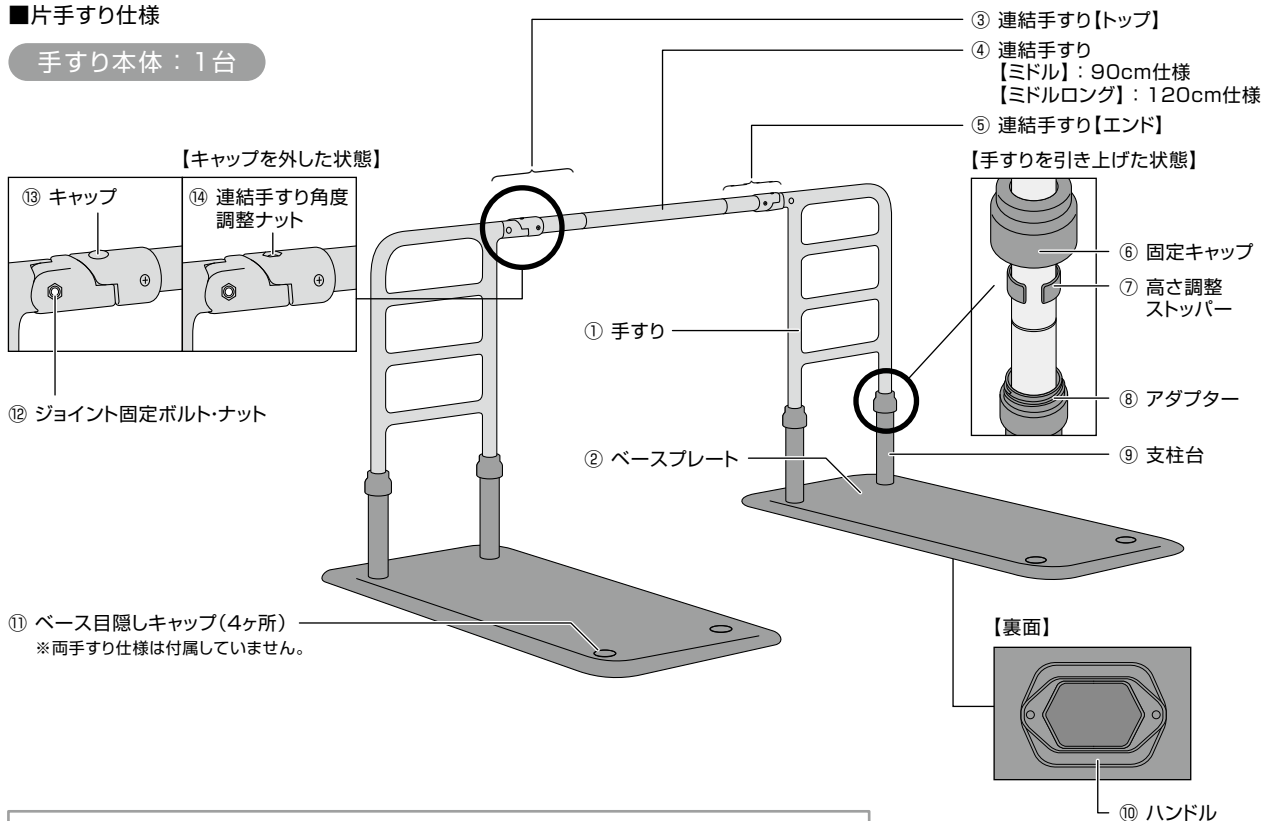
- ① **製品を移動させる場合には、連結手すりだけを持って動かさないようにしてください。**
手すりだけを持って移動させると手すりがゆるんだり、破損するおそれがあります。移動は必ず手すり部、連結手すり部を外して行ってください。
- ② **濡れた状態で使用する場合は、滑らないよう十分注意してください。**
手や足元が滑って転倒し、ケガをするおそれがあります。
- ③ **介護者など付き添いが必要な方が使用する場合は、十分注意してください。**
介護者など付き添いが必要な方が使用する場合は、必ず付き添いの方と一緒に使用してください。
- ④ **地面とベースプレートとの段差でつまずかないように十分注意してください。**
地面とベースプレートには段差があります。段差でつまずいて転倒しないように十分注意してください。
また、すり足で歩行される方が使用する場合は、十分注意してください。
- ⑤ **火気を近付けたり、ストーブ、ファンヒーターなどのそばで使用しないでください。**
火気やストーブ、ファンヒーターの熱などにより製品を破損したり、火災につながるおそれがあります。
- ⑥ **お客様による分解・改造は行わないでください。**
変形・破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。
不具合が生じた場合は、必ずお求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
- ⑦ **本来の目的以外には使用しないでください。**
本来の目的以外に使用すると製品が破損したりして思わぬケガをするおそれがあります。
- ⑧ **有機溶剤やスプレータイプの殺虫剤などを直接噴射しないでください。**
お手入れは本取扱説明書のお手入れ方法以外のやり方では行わないようにしてください。
消毒する場合は、柔らかい布などに消毒剤を付けてから清拭し、必ず仕上げに水拭きしてください。
有機溶剤などお手入れに適さない物は、使用しないでください。
- ⑨ **土や砂、雪などが付着している場合は、必ず清掃して使用してください。**
- ⑩ **直射日光が当たり、製品が熱くなる可能性がありますので、十分注意してください。**
- ⑪ **夜間など視界が悪い場合は、通行に注意して使用してください。**

各部名称

以下の部品が全てそろっているか、破損・変形などしていないかを確認してください。
万が一、部品の不足・破損があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

■片手すり仕様

手すり本体：1台



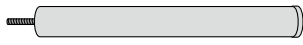
連結手すり



連結手すり【トップ】：1本
(ジョイント固定ボルト・ナット付き)



連結手すり【エンド】：1本
(ジョイント固定ボルト・ナット付き)

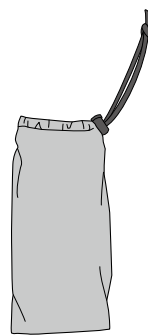
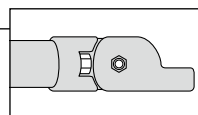


連結手すり【ミドル】：1本



連結手すり【ミドルロング】：1本

【下から見た図】



連結手すり
収納袋：1ヶ

付属品



●キャップ：2ヶ

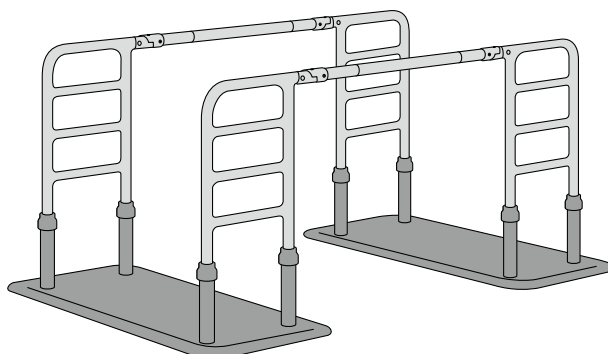


●取扱説明書
兼 保証書：1部

■両手すり仕様

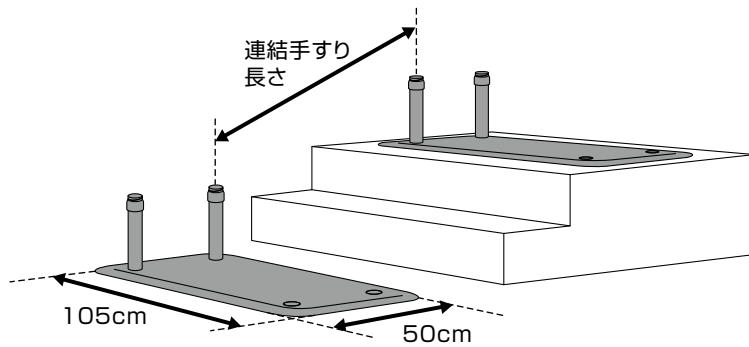
手すり本体：1台

※ベースプレートを除く手すり全体(付属品を含む)が
2セットとなります。



設置前の確認

ルーツ エントランスを設置する前に住宅環境を調査し、レイアウトを決めます。
(P10「段差設置時のサイズ目安」参照)



①ベースプレート(105×50cm)が上段部・下段部とも平らな平面があるかを確認してください。

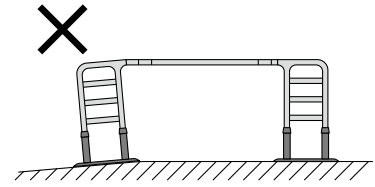
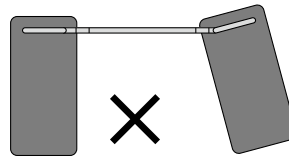
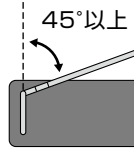
②2つのベースプレートの端部間の長さを計測してください。
(連結手すり長さとなります)

※調整可能長さは60~120cmです。

手すりと連結手すりの角度が45°以上になる場合や、2枚のベースプレートが平行および水平にならない場合は、設置しないでください。



警告



組み立て方法

ルーツ エントランスは現地での組み立てが必要となります。
重量がありますので、ケガをしないように平らな場所で以下の手順で組み立ててください。
※5mmの六角レンチが必要です。 ※工具は付属していません。

1 手すりの組み立て

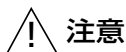
ベースプレートに支柱が付いた状態からの組み立ては以下のように行ってください。

- ①ベースプレートを平らな場所に置きます。
- ②手すりのストッパーの位置をそろえます。
- ③支柱に手すりを差し込みます。(手すりの向きに注意してください)
- ④固定キャップをしめます。



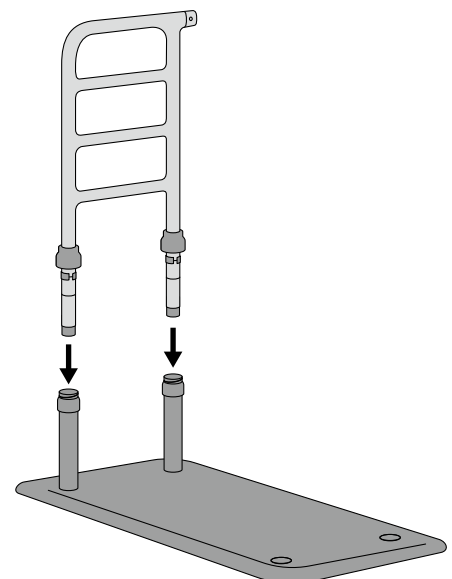
警告

必ず固定キャップがしまっていることを確認し、使用してください。



注意

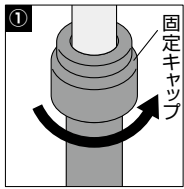
ベースプレートは重量があります。設置の場合は、手・指のはさみ込みに注意してください。



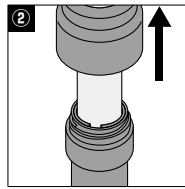
組み立て方法

2 高さ調整方法

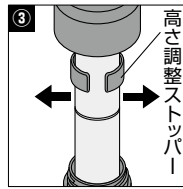
ルーツ エントランスの高さは3段階(85/80/75cm)に設定できます。
以下の手順で設定してください。



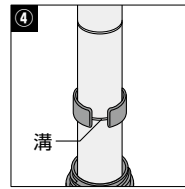
① 固定キャップをゆるめます。



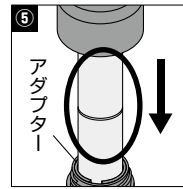
② 手すりを引き上げます。



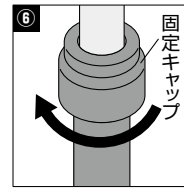
③ 高さ調整ストッパーを開いて高さを設定します。



④ 溝に高さ調整ストッパーが固定されているか確認します。



⑤ 手すりを下げ、高さ調整ストッパーが完全にアダプターに入っているか確認します。



⑥ 固定キャップをしめて高さ調整は完了です。必要以上にしないください。



注意

手すりを下げる場合は、固定キャップより下側を持って下げないようにしてください。

※○で囲んだ部分を持たないでください。

3 フィッティング方法

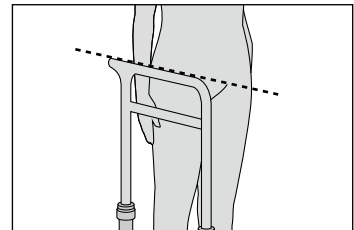
右図のように立ったとき、腰(大転子)の位置に手すりの上端がくるように高さを合わせます。

※高さ調整方法はあくまでも目安です。用途や利用者様に最適な位置に合わせてください。



警告

高さ調整後は、キャップがしまっていることを確認してください。

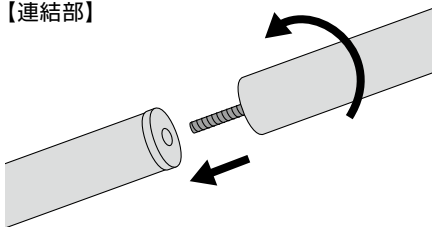


4 連結手すりの組み付け

事前に計測した連結手すりの長さに対応する下記の組み合わせで連結手すりを組み付けます。

組み合わせ	連結手すり長さ
連結手すり【トップ】+連結手すり【エンド】	60cm
連結手すり【トップ】+連結手すり【ミドル】+連結手すり【エンド】	90cm
連結手すり【トップ】+連結手すり【ミドルロング】+連結手すり【エンド】	120cm

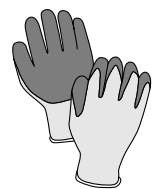
【連結部】



連結手すり長さに合わせて連結手すりを組み付けます。
連結手すりは【トップ】→【ミドル】または【ミドルロング】→【エンド】の順に、確実に順序どおりにしっかり組み付けてください。

※連結手すりの組み付けには、市販の滑り止め加工付きの手袋を使用し、しっかりと回して組み付けてください。

※手袋は付属していません。



滑り止め加工付き手袋

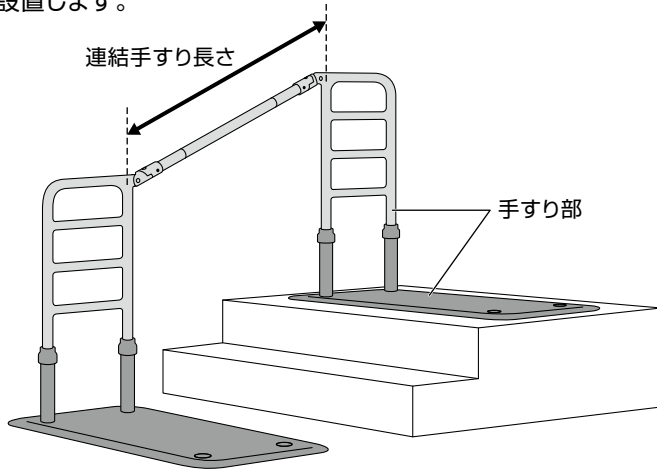


警告

- ① 連結手すりは上記の表以外での組み合わせで使用しないでください。
- ② 120cmを超える組み合わせはできません。
- ③ 連結手すりは市販の滑り止め加工付きの手袋を使用し、隙間なくしっかりと組み付けてください。ガタつきや破損するおそれがあります。

5 手すり部と連結手すりの組み立て

- ① 2組の手すり部(連結手すりを除く、手すり・ベースプレートのセット)を段差の上部・下部に、下図のように連結手すり長さに合わせて設置します。



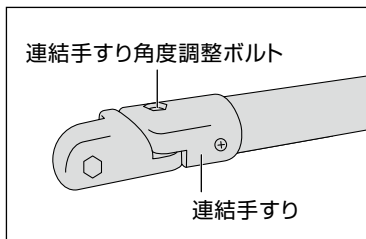
警告

- ① 2組の手すり部が水平に置けない、または段差スペースに収まらない場合は、設置しないでください。
- ② 2組の手すり部は、凹凸の大きい床面や柔らかい土間には設置しないでください。

注意

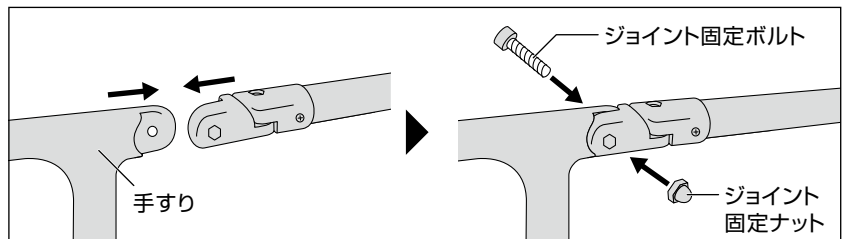
- ① 開き戸付近への設置は、扉と手すりおよび扉と手すり部が干渉しないよう注意してください。
- ② 各手すり部にガタつきがあるかどうか確認してください。ガタつきがある場合は、場所を確認して設置をやり直してください。

- ② 手すりと連結手すりを取り付けます。

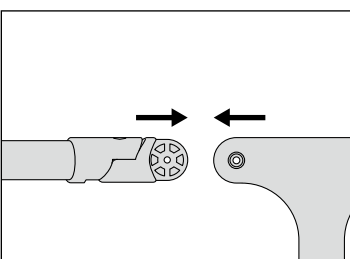
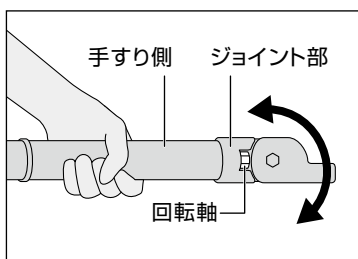


連結手すり【トップ】【エンド】の連結手すり角度調整ボルトを、角度調整できるように少しゆるめておきます。

※連結手すり角度調整ボルトは外さないでください。



連結部の穴の位置を合わせ、連結手すり【トップ】側よりジョイント固定ボルト・ナットを使用して仮組み付けします。



- ③ 連結部がゆるまないよう、連結手すり【エンド】の手すり側を持って固定し、連結手すりのジョイント部を回転させて位置を合わせます。

【トップ】側と同様に角度調整ボルトをゆるめ、手すりにジョイント固定ボルト・ナットを使用して仮組み付けします。

- ④ 手すり全体で設置位置と手すり角度を調整し、ジョイント固定ボルト・ナットおよび連結手すり角度調整ボルトを増し締めし、確実に固定します。

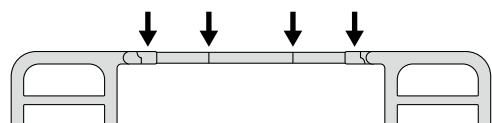
- ⑤ 連結手すり角度調整ボルトとジョイント部のねじ計4ヶ所を確実にしめて固定してください。(下図参照)

- ⑥ 連結手すり【エンド】を持ち、再度締め付けを確認してください。

【ボルト・ねじの確認】

- ⑦ ガタつきがないか確認してください。

- ⑧ 連結手すり角度調整ボルトへ付属のキャップを取り付けてください。(2ヶ所)



警告

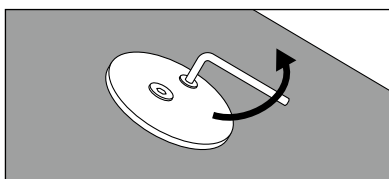
ジョイント固定用ボルト・連結手すり角度調整ボルトは、必ず5mmの六角レンチで締め付けて固定してください。

分解方法

支柱の取り外しと取り付け方法

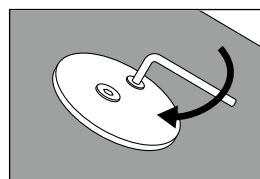
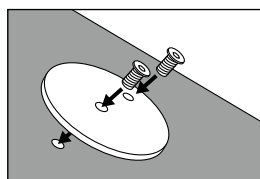
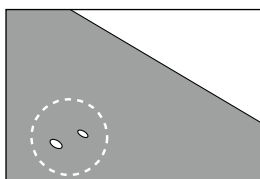
運搬や保管時には下記の方法で支柱を取り外してください。

【取り外す場合】



- ①支柱から手すりを取り外します。
- ②ベースプレートを横倒しにし、支柱を保持しながら底面の固定ボルトを六角レンチ(5mmサイズ)で外します。

【取り付ける場合】



- ①支柱の位置を決めます。
- ②ベースプレートを横倒しし、支柱を保持しながら底面から固定ボルトで固定します。
- ③固定ボルトは片側のみ強く締めずに交互にしめるようにしてください。
- ④トルクレンチを使用する場合は、締め付けトルクを6.5N・mに設定してください。



警告

- ①必ず専用の大型のワッシャを使用してください。
- ②固定ボルトは特殊な形状の専用品となります。これ以外のボルトを使用すると床にキズが付くおそれがあります。

運搬・保管方法

運搬方法

運搬する場合は、手すりから連結手すりを、ベースプレートから手すり(支柱)部分を取り外して別々に運びます。



警告

- ①組み立てた状態で手すりだけを持って運ばないでください。
- ②車両で運搬する場合は、上に重量物を重ねたり、不安定な積み方で運搬しないでください。



注意

- ①手すり部から連結手すりを取り外す場合は、ジョイント固定用ボルトをゆるめて取り外してください。連結手すり角度調整ボルトは取り外さないでください。
- ②連結手すりの分解は、ジョイント固定用ボルトを外し、連結手すりを【エンド】→【ミドル】→【トップ】の順でゆるめてください。その他の連結手すりは分解しないでください。

保管方法

汚れを取り除き、よく乾燥させて保管してください。

直射日光の当たらない場所で保管してください。(材質、色が変わるおそれがあります)

湿気の多い場所では保管しないでください。(サビ、カビ発生の原因になります)

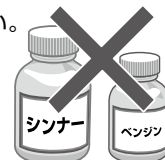
手すりを重ねて置いたり、不安定な状態での立て置き保管はしないようにしてください。

お手入れ方法

●ベースプレート、手すり、連結手すり

消毒する場合は、アルコール消毒剤などを柔らかい布に吹き付けてから清拭してください。
 清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。
 仕上げに乾いた布で拭き取ってください。
 使用前に手すりがすべらないか必ず確認して使用してください。

- ⊗ ツヤ出し剤などを塗布すると、滑って転倒するおそれがありますので、使用しないでください。
- ⊗ 次亜塩素酸を使用する場合は、6%水溶液を100～200倍に希釈して清拭し、仕上げに水拭きしてください。
- ⊗ 有機溶剤（シンナーやベンジンなど）、殺虫剤、強酸性洗剤は使用しないでください。
- ⊗ オゾンガスは金属部分に影響を与えるため、使用しないでください。
- ⊗ 60℃以上の温度を加えないでください。
- ⊗ 金属ブラシ、ナイロンたわしなどはキズをつけるため、使用しないでください。



点検項目

●ルーツ エントランス チェックシート

下記の点検項目を確認してください。
 異常があった場合は、お求めの販売店または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

点 検 項 目		確 認	
1	連結手すりの確認 ・ 連結手すりは指定の長さで組み合わせていますか？ ・ 連結手すりは120cm以下になっていますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO
2	手すり、連結手すりのガタつきの確認 ・ 手すりに力をかけたときにガタつきやジョイント固定ボルト・連結手すり角度調整ボルトのゆるみはありませんか？ ・ 連結手すりの各連結部がゆるんでいませんか？	YES <input type="checkbox"/>	NO
3	ベースプレートの確認 ・ ベースプレートにゆがみやガタつきはありませんか？ ・ 著しい塗装のはがれなどはありませんか？ ・ サビの発生はありませんか？	YES <input type="checkbox"/>	NO
4	壁や段差とのすき間の確認 ・ 段差との間にすき間ができていませんか？ ・ 壁とのすき間は、12cm以下または25cm以上になっていますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO
5	手すりの位置と高さの確認 ・ 手すりの位置と高さは利用者様に最適となっていますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO
6	手すりの確認 ・ 支柱固定ボルトは確実にしまっていますか？ ・ 固定キャップはしまっていますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO

このようなときには

症 状	確 認	処 置
手すりに ガタつきがある	ジョイント固定用ボルト・連結手すり角度調整ボルトはしまっていますか？	各ボルトの増しじめを行ってください。(P6参照)
	連結手すり【トップ】【ミドル】【エンド】の接続部がしまっていますか？	連結手すり【トップ】【ミドル】【エンド】の接続部をしめてください。(P5参照)
	支柱固定ボルトはしまっていますか？	支柱固定ボルトをしめてください。(P7参照)
	地面に傾斜などありませんか？	傾斜の無い平らな地面で使用してください。(P4参照)
手すりが かたむいたまま 戻らない	支柱固定ボルトはしまっていますか？	支柱固定ボルトをしめてください。(P7参照) 支柱固定ボルトがしまっていないもかたむいている場合は、過大な負荷が加わり、変形または破損した可能性があるので使用を中止し、お求めの販売店または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。



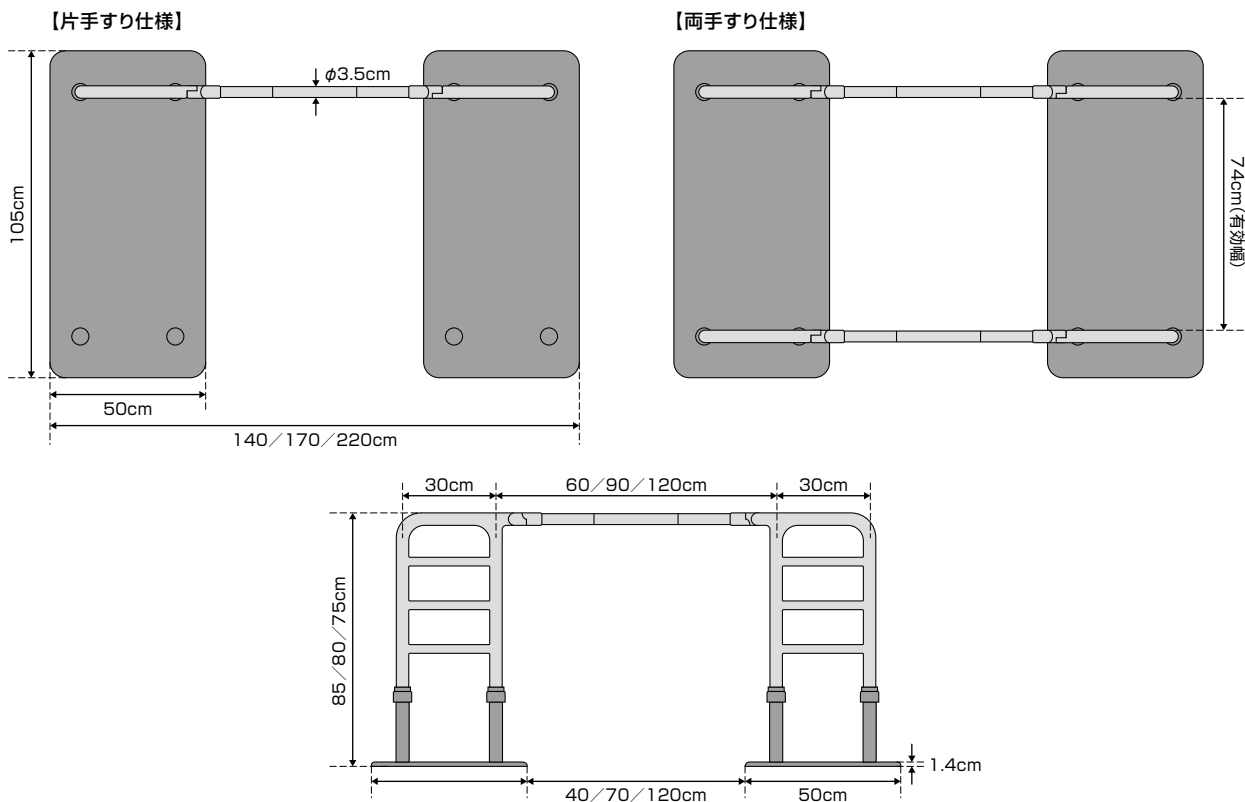
警告

使用中にゆりみやガタつきが発生した場合は、使用を中止し必ず貸与事業所へ相談してください。

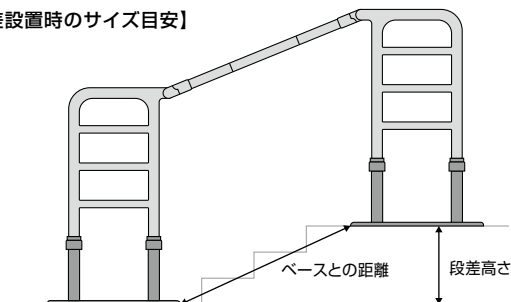
上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合は、お求めの販売店または
(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口
TEL(082)842-9975

各部寸法および仕様



【段差設置時のサイズ目安】



連結手すり	ベースとの距離(目安)	段差高さ
60cm	40cm	30cm以下
90cm	70cm	45cm以下
120cm	100cm	60cm以下

ルーツ エントランス(片手すり仕様)

品番 MNTPOE

- 素 材：ベースプレート=スチール、手すり部=スチール+樹脂
- 本体サイズ：ベースプレート=幅50×長さ105cm
手すり部=幅34×高さ75/80/85cm(3段階調整)
トップグリップ(楕円)=4.0×3.1cm、ミドルグリップ(楕円)=3.1×2.8cm
- 重量：38.1kg
- 連結手すり：直径=3.5cm、長さ=60/90/120cm(3段階調整)

■1年保証

ルーツ エントランス(両手すり仕様)

品番 MNTPOE2

- 素 材：ベースプレート=スチール、手すり部=スチール+樹脂
- 本体サイズ：ベースプレート=幅50×長さ105cm
手すり部=幅34×高さ75/80/85cm(3段階調整)
トップグリップ(楕円)=4.0×3.1cm、ミドルグリップ(楕円)=3.1×2.8cm
- 重量：47.7kg
- 連結手すり：直径=3.5cm、長さ=60/90/120cm(3段階調整)

■1年保証

開発・製造元

ISO9001 認証取得

ISO13485 認証取得

※床ずれ防止マットレス・体動センサの設計、製造および付帯サービスにて取得

株式会社 **モルテン**

健康用品事業本部

www.molten.co.jp/health

東京 札幌 仙台 埼玉 名古屋 大阪 広島 福岡

製品他、各種お問い合わせは

〒739-1794 広島市安佐北区口田南2-18-12

TEL.082-842-9975

E-mail:health@molten.co.jp

〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日 / 9:00～17:00

※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

2020.02